

【県実施分】学力調査結果の分析による具体的改善策 5年

(大明) 小学校

《偏差値》

R 7 年度（今年度）結果		
国語		
全体	知識	活用
5 2	5 0	5 4
算 数		
全体	知識	活用
5 2	5 1	5 4
理 科		
全体	知識	活用
5 3	5 4	5 1

目標値を下回った問題（県値を下回った問題）	
国語	①言葉の学習 ②説明文の内容を読み取る
算数	①億と兆・がい数の表し方 ②わり算・計算のきまり
理科	①物のあたたまり方 ②月と星

2 質問調査結果概要

※肯定的答の割合（「学びに向かう力」に関連）

質問事項	R 7 年度結果				
教科などの勉強はどれくらい好きですか。	国語	7 7. 8 %			
	社会	6 6. 7 %			
	算数	4 4. 4 %			
	理科	8 8. 9 %			
	外国語	7 7. 8 %			
教科などの授業はどれくらい分かっていますか。	国語	1 0 0 %			
	社会	1 0 0 %			
	算数	7 7. 8 %			
	理科	1 0 0 %			
クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言していますか。		7 7. 7 %			
あなたは、ものごとを最後まであきらめずにやりぬく方ですか		1 0 0 %			

3 具体的改善策

① 2 学期から取り組む学校の組織的な学力向上の取組の改善策

<記入例>

○説明する力をつける、内容理解を図るためのペア・グループ活動を多く取り入れる。

○キュビナやドリルを活用した、小数や分数などの四則計算、漢字など基礎的な知識の反復練習。

②2学期から取り組む授業改善・学習定着状況の把握・補充学習・家庭学習の改善策

	授業改善	学習定着状況の把握	補充学習・家庭学習
国語	○漢字の小テスト、言葉に関する問題等を授業内に取り入れる。	○単元テストやキュビナ、家庭学習の結果をもとに、苦手とする児童が多い部分を把握する。	○言語（漢字・言葉）に特化した内容をキュビナを活用して宿題に出す。 ○週末課題等で、説明文に関する内容を出す。
算数	○四則計算の反復練習を取り入れる。 ○考えの共有や説明を行うペア活動を多く行い、定着を図る。	○単元テストやキュビナ、家庭学習の結果をもとに、苦手とする児童が多い部分を把握する。	○ドリルタイムを活用し、四則計算の反復練習を行う。 ○前学年までの内容の定着を図るために復習プリントやキュビナを宿題で出す。
理科	○前学年までの復習を行う。 ○動画や実験を通して、考えを予想する・考察する・まとめる活動の時間を確保する。	○単元テストやキュビナ、家庭学習の結果をもとに、苦手とする児童が多い部分を把握する。	○前学年までの知識・技能の復習ができる内容をキュビナで宿題に出す。